

SS探究 I

【フィールドワーク 子育て支援センター & こすもす公園で学びを深めました！】

こんにちは。

今年は1年生130名が7コースに分かれて釜石市内の施設を訪れました。それぞれの場所で視野を広げ、問いを深め、探究とはどういうことかを学んできました。

それぞれのコース別でお伝えします。

まず、子育て支援センター & こすもす公園での様子をお伝えします。

こすもす公園では、甲子柿などの地元の食材の活用についてや自然保育についてのお話を聞き、現地を見て回りました。

平田子育て支援センターでは、できたばかりの施設を見学し、活用方法をワークショップ形式で考えました。「模造紙がいっぱいになるくらいアイデアを出そう！」という意気込みで、楽しく学びを深めました！

生徒の感想からは

「甲子柿を使った離乳食レシピを作りたい」

「木を使って遊具を作りたい」

などという新たなアイデアも出ました。

今後、生徒のアクションにつなげられればと思います。

<生徒の感想>

「自然そのものを食べたり、自然を知りながら成長できるのは、田舎ならではの痛感した。」

「人ともとの自然と触れ合い、いろんなことを学ぶのが自分は好きなのだと感じさせてくれました。前までは興味を示さなかったのに、今はこんな気持ちになれるのは自分の変化だと思います。」



SS探究 I

【フィールドワーク 森林組合で学びを深めました！】

こんにちは。

森林組合の様子をお伝えします。

現場見学として、鶉住居復興スタジアム裏にある森林組合が管理する山道に入り現地を見学した後、森林組合事務所で取り組みについてのお話をうかがいました。

＜生徒の感想＞

「鶉住居の木がどれだけ様々な場所やことに使用されているかがわかり、岩手だけでなく世界にも広がっていることに驚いた。木のアート作品で地域を盛り上げたい！」

「森林組合さんは木だけでなく、川や海なども大切にしていることがわかった。木を植えようプロジェクトをやってみたい」

森林に囲まれていることが当たり前になっているからこそ今まで気がつかなかったことが多く、視野が広がったようです！

森林組合さんとは2年生の課題研究でも協働が始まっています。次にどんなアクションを起こしていくかを深めたいと思います！



SS探究Ⅰ

【フィールドワーク 産業育成センターで学びを深めました！】

こんにちは。

釜石・大槌産業育成センターの様子をお伝えします。

釜石で行われている持続可能なエネルギー生産のための実践をうかがいました。身近なところで行われているSDGsの取り組みを初めて知った生徒も多く、驚いていました。SDGsという言葉は聞いたことがあっても、実際に現場を訪れ、お話を直接聞いたことによる気づきがあったのだと思います。

ワークショップでは、「海の波の力で作ったエネルギーを使って〇〇を喜ばせよう」というテーマで、エネルギー（電気）を使うことで釜石にもたすことができる取り組みについて各班で挙げていきました。

<生徒の感想>

「自分がフィールドワークに行って学んだことは、多くの視点を持つということです。他の人の意見を知ることで、視点を多く持つことができる」

「そこまで興味を持っていなかったことでも、実際に話を聞いてみることで発見があるし、興味も湧いてくるんだなと思いました」

新しい気づきによって興味が湧き、もっと知りたいと感じた生徒がいたことに嬉しく思います！



SS探究 I

【フィールドワーク 仲見世商店街で学びを深めました！】

こんにちは。

仲見世商店街の様子をお伝えします。

商店街の様子を見学した後、現地で起業したゲストハウスあずま家の東谷いずみさん、合同会社sofoの神脇隼人さん、宮崎達也さんからそれぞれの取り組みについてのお話をうかがいました。後半はグループごとに理想の仲見世通りを考え、アイデアを仲見世通りのsofo caféの窓に絵を描いて発表しました。

<生徒の感想>

「空き家についての考えが、今まではどうも思わなかったけれど、自分自身で変えてみたいと思うようになった。自分でゼロからのスタートだけど、今日お話を聞いた方々と一緒に何か作っていきたい」

「店が一つもない商店街から、歴史を引き継ぎまた利用をして新しいものを作ろうとしている。また、自分たちでどんな店にしたら良いのか考えることができた」

1年生の後期から始まる課題研究のテーマとして続けていきたいと感じた生徒もいたようです。ジブンごととして次の活動のきっかけにしてほしいと思います！

他のグループの生徒達にも自分たちの案を一所懸命伝える様子も見られて、今後の探究活動が楽しみです！



SS探究Ⅰ

【フィールドワーク SDGsハウスで学びを深めました！】

こんにちは。

SDGsハウスの様子をお伝えします。

SDGsハウスでは、先日の講演会でもお越しいただいた山田周生さんが、持続可能な暮らしの実現に向けて様々な試みを行っています。太陽光発電で充電した草刈機やドローンが実際に動く様子を見ることができ、とても興味を深めているようでした。

<生徒の感想>

「世界的にSDGsハウスの問題を解決するには世界規模で動かなければならないことがわかった」

「実際に行ってみて、事前に調べた情報にはないことが多くあった。気になったことを聞いてみると自分とは全く違う視点から物語を見ていて驚かされた」

インターネットで調べるだけでは得られない情報も多くあり、実際に場所を訪れ、お話を現地の方から聞くからこそ得られる情報があるということに気が付いた生徒もいました。



SS探究 I

【フィールドワーク 東京大学大槌海洋研究所で学びを深めました！】

こんにちは。

東京大学大槌海洋研究所の様子をお伝えします。

今回、海洋研究所のフィールドワークはコロナウイルスの影響により現地での実施が難しくなったため、学校内の化学室にて行いました。4人の先生方に来て頂き、お話を伺うことができました。

東大の先生方からは、研究の実態(研究を始めた動機、課題のを見つけ方、準備、自腹を切った金額、失敗について)が聞けて、とても有意義な時間になりました。

3時間の長丁場になりましたが、熱心に話を聞いていました。

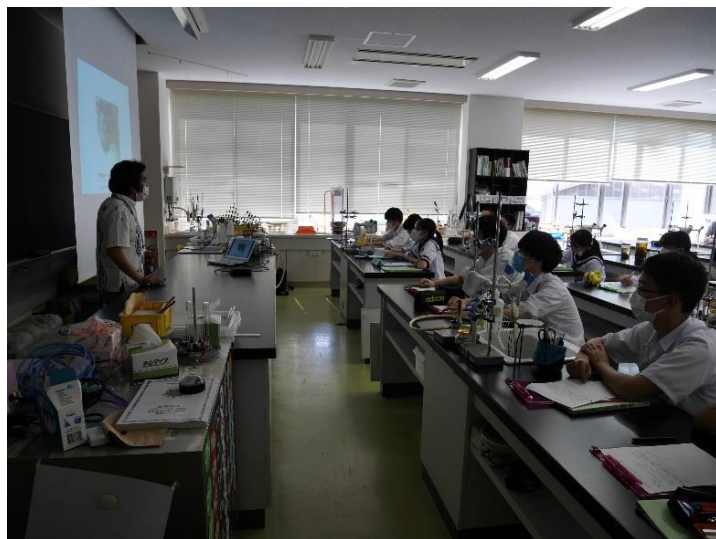
<生徒の感想>

「今回は残念ながら研究所に行くことはできなかったけれど、講演を受けてみて研究に対する自分の考え方が変わったように思うし、研究が楽しいことがわかった。」

「フィールドワークに行ってみて、自分から行動することの大切さを学びました。自分の好きなことをつきつめて研究材料を見つけたいです」

研究とはどのようなものかを考え、大人に初めから頼るのではなく、自分から動いていくことの重要性に気づいたりもしたようです。

今後の活動に期待です！



SS探究 I

【フィールドワーク かまいしDMCで学びを深めました！】

こんにちは！

かまいしDMCでの様子をお伝えします。

今回、根浜キャンプ場、鶉住居にあるいのちをつなぐ未来館、魚河岸テラスを実際に訪れ、お話を伺いました。

根浜キャンプ場では、「あおぞらパーク」という子供達と外で遊びながら自然と触れ合えるボランティア活動があるというお話も聞きました。やりたい！と言ってくれた生徒も複数いて、今後の活動に繋がります。

いのちをつなぐ未来館では東日本大震災当時の様子やその後の取り組みのお話を聞かせていただきました。

未来館のスタッフのみなさまから刺激を受けた生徒たちも多く「震災の状況や影響を受けていなくて知らないという人にも伝えて行きたい」という声もありました。

魚河岸テラスでは、新しくテラス内にオープンしたジェラート店も見ることができました。

生徒からは「ジェラートのフレーバーを考え、もっと釜石の魅力を高め、発信していきたい」という声もありました。

釜石に住んでいても地元の魅力に気づいていない生徒や、釜石での活動や取り組みについて知らないことがたくさんあったと感じた生徒も多かったようです。

